



校長室だより

第 5 8 号

(通算第111号)

令和5年3月16日(木)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田浩之

1 年間ありがとうございました

明日(17日)は卒業式です。今回が最後の「校長室だより」となります。「楽しみに読んでいます。」「校長先生の考えがよく分かりました。」など保護者の皆さまからたくさん感想をいただきました。子供たちからも、自分たちが頑張ったことを「校長室だよりに載せて。」などの声もありました。今年も、すまいる園の浅沼園長先生に、さらには、大崎市教育委員会田尻支所の門間支所長様、田尻さくら高等学校の須藤校長先生にも、読んでいただきました。浅沼園長先生や須藤校長先生からも読んだ感想を数多くいただきました。

子供たちの様子をお知らせしたいという思いで発行してきました。発行してみて、発信することの大切さを知りました。

全面実施から3年目となった、小学校学習指導要領では、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。その中でも、「対話的な」という言葉に注目してみると、子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深めるという「対話的な学び」の実現が求められています。つまり、理解したことを自分の言葉で表現できる力が必要になってくるのです。子供たちには自分の言葉で、しっかり自分を表現できるようになってほしいと思っています。

最後に、大野正人という人が文を書き、中川学という人が絵を描き、東京未来大学こども心理学部長、教授の出口保行さんが監修した「夢はどうしてかなわないの?」という絵本から、「おわりに」に大野さんが書いている一文を紹介します。

夢にむかう道のりには、たいへんなことがたくさんあります。
でも、そこで手に入れた心の力は、かならず、自分のしあわせにつながります。
そして、それは、あなたのしあわせをのぞむ
お父さんやお母さんの夢へとつながっているのです。
そのことをわすれずに、これからもがんばってください。

大野正人

この本を昼の校内放送で読み聞かせする予定です。すごくいい本なので、みなさんに読んでほしいです。

さて、6年生および、5年生の皆さん、いよいよ卒業式だね。明日はいい卒業式にしよう!

一年間、コロナ禍にあって、本校の学校運営に御理解、御協力をいただきました。本当にありがとうございました。そして、読んでいただいたことに感謝いたします。